



安心とするおのれ下町川の手をめぐって

# 防災まちづくり瓦版

発行ノ一寺言問を防災のまちにする会

1991. 1. 1.

一言会が防災広場として計画していた高田製菓跡地

## まちづくり用地取得を断念!

## 防災に役立つマンションにして!!

マルス東向島という五階建てマンションを計画している

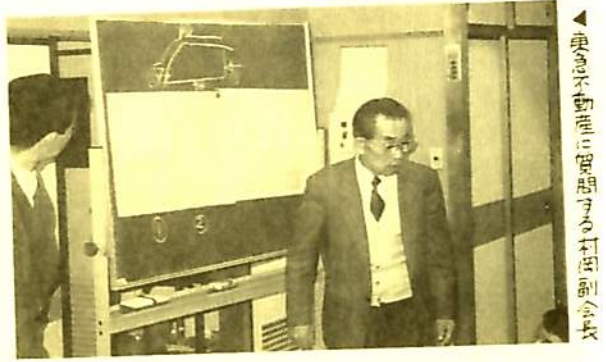
東急不動産に一言会が10の要望を提出しました。

とても残念なことです。高田製菓跡地(東向島一丁目20番地)を区に買ってもらうことが絶望的になり、十月三日の理事会でまちづくり用地として取得を要望していく方針を断念することになりました。同跡地は防災活動の拠点に位置付けている一寺小と言問小の間。木造密集地にあり、長年空地として放置されていました。一言会では防災まちづくりをすすめるにはどうしても必要な土地であるとかねてから区に買収を要望してきました。ところが前号でお知らせしたように、今年六月東急不動産が取得し、五階建てのマンションが建つことになりました。八月の理事会で一言会は同社にまちづくりへの協力を区への土地売却の検討を要望しました。九月には、区から、則武会長、村岡副会長(東向一南町会長)、徳永副会長(わいわい会代表)が直接同社の責任者に会って、直談判しました。ところが「土地は事業用地として買ったので、区に売る意向はない」という同社の方針は変わりませんでした。所有者に売る意向がない以上、たとえ全区民の署名を集めても買うことはできません。十月三日の理事会では涙を飲んで方針を転換し、少しでも防災まちづくり計画の方針に近いものに開発計画を改善していく方向で、東急不動産に要望・交渉していくことになりました。



十月二十九日の理事会では、もう一度これまでの経過を振り返り、今回の問題をまちづくり全体の教訓にしていくことにして、マンション建設計画の検討にはいりました。検討にあたっては、一寺言問地区六町会の協力を得て特別小委員会をつくり、総力をあげて取り組むことになりました。小委員会では議論を重ねました。そして十一月二十八日、別表に掲げた10の要望項目を東急不動産に提出しました。十項目のうち、10の駐車場については、路上駐車を発生しないような手だてを検討し、具体的な対応策をとってもらうことになりました。そのほかの9項目については、後日検討結果を聞くことになりました。東急不動産は「地元の人と気持ちがよくわかった。今後は誠意を尽くして対応していきたい」と言明しており、今後の検討が期待されます。

●高田製菓跡地は、一寺小と言問小を結ぶ防災用道路「一寺言問のみち」の整備用地として、また防災広場用地として是非とも必要だと考えてきました。



### 東急のマンション計画に対して一言会が出した10の要望項目

1. 集会室を地元へ寄贈していただきたい。また、地元の人が入りやすいようにデザインを工夫していただきたい。
2. 防災広場をもっと広くとっていただきたい。加えて周囲の防災に役立つような設えを施していただきたい。
3. 敷地内に避難用の通路を確保していただきたい。
4. 建物からの落下物防止対策を万全にするとともに、放水銃など周囲の防災に役立つ設えを施していただきたい。
5. 北東部道路の歩道状空地を防災広場と一体的にデザインしていただきたい。
6. 南側広場を開放し、消火栓など周囲の防災に役立つ設えを施していただきたい。
7. 防災用水などに雨水を積極的に活用していただきたい。
8. 周囲の路地から見た時、建物が親しみやすく感じるように建物のスケールやデザインを工夫していただきたい。そのために、建物に近づく跡地から見た景観シミュレーション図を提出していただきたい。
9. 周囲から見える緑をもっと増やしていただきたい。
10. 地下などを利用して駐車場をもっと多く確保していただきたい。

一寺言問 / 防災まちづくり瓦版

第23号 平成3年1月1日発行

編集 / 一寺言問を防災のまちにする会・編集局  
高橋純子・若木菊枝・木田佳男・木田文代

編集協力 / マヌ都市建築研究所

発行 / 一寺言問を防災のまちにする会・事務局

皇田区吾妻橋部開発促進会内

〒130 皇田区吾妻橋1-23-20 Tel (5608)1111

# 私がまちづくりスタッフです

その21

堤通一丁目

横田 久さん  
(一言会理事)



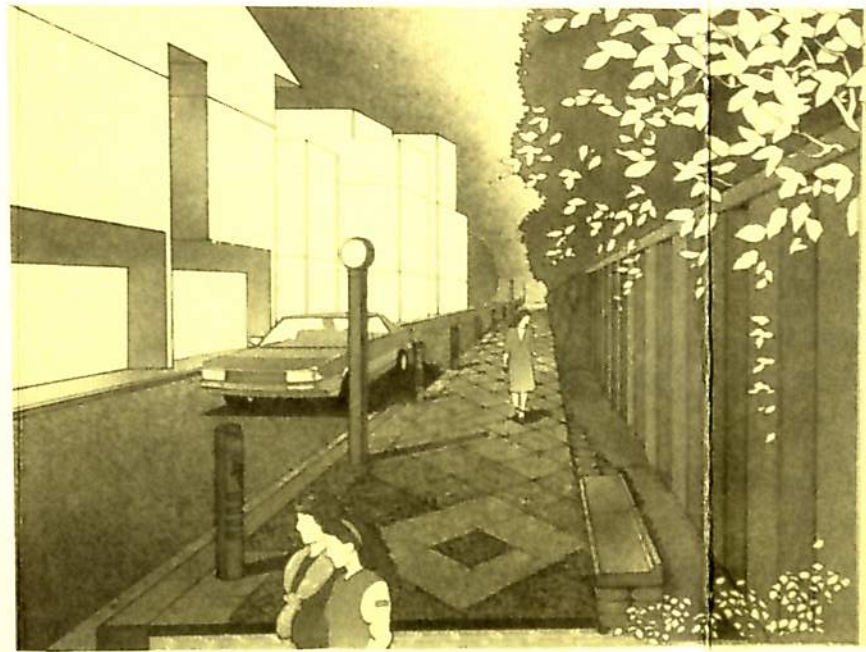
「アサヒビール配送センターのことで、排気ガス・騒音対策をどうするか。町会の要望を出しました。」 淡みのない話し方。歯切れがいい下町っ子という感じのする横田さん。容姿もスリムで無駄がない。

生まれは墨田区。十間橋通りの区画整理にあい、引越してくる。三月十日の東京大空襲の日、白鬚神社のすぐ裏まで火の手が迫ってくる光景は今でも忘れない。日本ベークライト研究所(住友ベークライト)に就職。のちに横田酒店を継ぐ。

いつ通っても小さく、ぱりと気持ちがいい旧墨堤之道。この道の整備をめぐってドラマがあった。旧墨堤之道の再生は一言会の夢だったが、沿道の方々と意見がくいちがい。計画は暗礁に乗り上げた。

横田さんは一言会の理事でありながら、沿道の住民という苦境に立たされた。が、持前のねばり腰。沿道の方々と一緒に考え、行動し、整備計画を見直し、意見を加えて、ついに旧墨堤之道が完成した。足かけ三年の年月が必要だった。

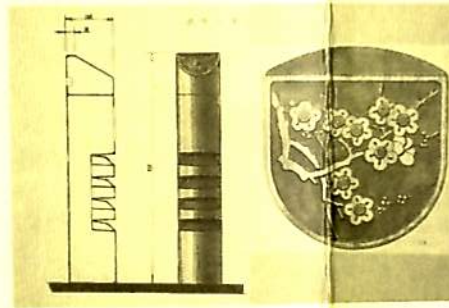
「この教訓を忘れずに、まちづくりを進めていかないとね。そこに住む人たちがまちとどう関わるか。住民参加のまちづくりですからね。」 考え方もお洒も、辛口が大好きとお見受けした。(純)



百花園前の道の完成イメージ図

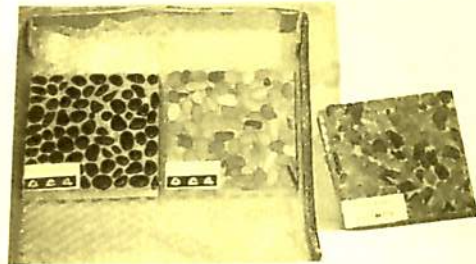
## 東向島三丁目 寺島の道整備 百花園前のデザイン計画がまとまった!

●10月25日、沿道の人たちと墨田区道路課と一言会の担当者が集まり、整備の最終検討会を開き、デザイン計画をまとめました。それによると、ガードレールをポラード(車止めの柱)に変え、歩道をタイルで舗装する他、消火器ボックスや案内板、ベンチなどが整備されます。区内初の試みとして夜景を演出するための照明灯もつきます。当日は施工会社の人が出席して工事説明会もおこなわれました。3月には新しくデザインされた道になります。楽しみです。



●ポラード(車止めの柱)には、照明を埋め込んで足元を照らします。百花園の植木と、ことから設計に梅のレリーフを施しました。

一言会では、東向島三丁目の寺社・公園・学校を災害時に応急利用できるようにし、それらと結ぶ(寺島の道)の緑化や地下物防止を積極的にすすめる、安心して歩ける散歩道づくりをすすめています。



●上の写真は歩道に敷くタイルです。寺町らしく自然石平板・那智黒石と緑意石を並べました。舗装パターンは、11月26日に現地と試験的に貼、7月で検討しました。



●白鬚神社で「寺島の道」の検討会

## 向島5丁目の防災菜園 有季園第三期利用者募集

向島有季園の第三期利用者を募集します。利用期間は3月1日から翌年1月31日まで。路地草の水を使ったり豊かに緑づくり、みんなが見て楽しめるような緑づくりを約一年間責任を持っておこなえる方を求めます。希望者は官製はがきに応募券を貼り、住所、氏名、電話番号を記入の上、一言会事務局に申し込んで下さい。1月31日頃印有効、2月に公開抽選会を開いて選びます。抽選日は応募者に自って通知します。なお利用対象は一寺言間地区住民に限ります。利用者は一言会と利用協定を結び、有季園の管理運営に携わっていただきます。利用者会議に必ず出席すること、近隣に迷惑をかけること、利用者本人が責任を持っておこなうことを約束していただきますのでご了承下さい。

申し込み先は 〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 墨田区都市整備部開発促進室内 一言会事務局「向島有季園」係 Tel (5608)1111 (内3912)

応募券を貼って一言会事務局へ



向島有季園



応募券切り取り票券に貼って下さい

## 寺島の道の緑を歴史探訪



▲サザンカーなど苗木配布

●11月25日、一言会は墨田区緑化係と共催して「寺島の道」の緑に関するイベントを開きました。白鬚神社の社務所に地区住民でもある小島雅孝区立緑図書館館長を招き、寺島の緑の歴史についてお話を伺いました。また区の緑の調査員で地区住民の財越利喜雄さんの案内で「寺島の道」を歩き、現地で緑の解説をしていただきました。

▲現地で解説する財越さん

●緑の講習会と苗木配布のイベントを開催

一寺言間地区は東京都の緑化モデル地区です

